

事業名

上京区の音楽福祉の可能性を求めて～

『研修会実施とプログラムの映像による紹介』

実施団体

音楽福祉工房はればれ

研修会を開催し、音楽と人間の心理との関係を理解した上で、演奏者と施設関係者との意思疎通改善への工夫に取り組むために、健常者や初期の認知症の方々に向けた、対話や体験も交えた音楽プログラムを考案しました。そして、その内容を紹介する動画を作成、ホームページなどで公開しました。将来的には、三方（音楽を提供する側、音楽の提供を受ける側、社会全体）それぞれに向けてアピールできる動画を複数作成し、ホームページなどで公開することを目標としており、今回はその第一段階として取り組みました。

動画によるプログラム紹介は、当団体にとりまして新しい試みでした。

これまでの活動や学びから、編集したもの、新たに制作したものなどが混在し、技術的にもまだまだ十分な内容とはいえませんが、可能なペースで少しずつ増やしていければ、きっと、新しい解決方法など、様々は視点からのヒントが見えてくるはずだと思います。可能な範囲で、この事業は持続させていきたいと思っています。

研修会の参加者らは、熱心に講演を聞いてくださり、音楽療法史をとおして、現状を考えるきっかけにつながりました。小さな積み重ねを持続させることによって、より多くの方が音楽で少しでも心身豊かに暮らせるよう、今後も地域の方々と共に考えるきっかけをつくっていければと思います。

新聞やチラシを見て、はればれの活動に関心を寄せる方からのお問合せもあるなど、「音楽」で少しでも心に安らぎを、貢献できる形を求めておられる方が存在することを、改めて強く感じました。今後は、この成果を活用し、「音楽福祉工房はればれ」として、社会に貢献できる活動の場をさらに広げていきたいと思っています。

11月11日 第11回ははればれ研修会開催



光平有希先生によるご講義『歴史からみる医療のなかの音楽』。一般の方々に分かりやすく、多くの貴重な写真や映像を交えて非常に丁寧にご説明くださり大変勉強になりました。

音楽福祉プログラム紹介動画はHPに紹介しています。 → <https://uemuramusic.wixsite.com/harebare>

